

関東ふれあいの道 埼玉県③ 伊豆ヶ岳を越えるみち（個人山行）

報告：FT

◎期日：2024年2月15日

◎メンバー：FT、SM

伊豆ヶ岳はおおよそ40年ほど前、山をはじめて間もない頃、ひとりで登ったことがある。当時の記録も記憶もないが、山頂直下は男坂の鎖場を登ったことだけは覚えている。多分、まだ鎖場・岩場を登った経験がなく、これを登って山頂に達した！という達成感があったのだろう。ウブだったのだ。

駅前広場から階段を下り、川に沿った車道を歩き始めた。岩をやる人、やった人なら興味がそそられそうな大きな岩壁があり、思わずこれを見上げてしばしウォッチ。小生には手も足も出ない。車道の終点から山道になるが、やはり山道は気分が良い。正丸峠が近くなると急な階段となったが距離は短く、すぐに正丸峠に到着した。駅から丁度1時間であった。売店はシーズンオフのためか、平日のためか、シャッターが降りていた。

一休みして出発。20分ほどで「小高山」に到着した。先日降った雪がまだ少し残っており、嬉しくなった。地図には標高の記載がないが、山頂標柱に720mとあった。長岩峠はこのすぐ先であった。当初の計画では伊豆ヶ岳に登頂後は、この長岩峠から下って正丸駅に戻ることにしていた。次のピークは地図に山名が記載されていないが、山頂標柱に「五輪山」とあった。樹林に囲まれた静かな広い山頂で、雪も残っており気持ちが良いので少し長めに休んだ。

またまた下ってまた登り返すと山頂直下の分岐に到着。正面が男坂で鎖場のルートであるが、トラロープが張られ通行禁止となっていた。元気な頃は妙義の進入禁止のルートでも「自己責任」で進入したもののだが、後期高齢者の今は素直にこれに従う。女坂も崩落箇所でもあるのか、通行禁止となっていた。登るルートはその中間。今はこの中間道が関東ふれあいの道のルートになっている。これを登って行くと、やがて雪を踏むようになった。しばらく登ると伊豆ヶ岳山頂(850.9m)に到着した。10:55であった。細長い山頂で、一番奥の石で造られた山頂標柱の前で昼食とする。



五輪山 樹林に囲まれた静かな山頂。雪も残っていました。



伊豆ヶ岳山頂にて

冬枯れで樹は葉を落としていることもあり、展望は良い。好天で風もなく居心地が良い。突然、SMさんが「子の権現へ行きましょうよ」という。時間的にも引き返すにはもったいない、まだ午前中で、案じられた天気もくずれそうな気配がない。小生の体調も良い。吾野駅には明るいうちに着けそうだ。かくして、子の権現を目指すことに・・・。

古御岳方面は急な下りからはじまるが、南側になるので雪はまったく無くなっていた。古御岳(839m)にはすぐに到着した。

次は高畑山をめざす。かなり急で荒れ気味な道をドンドン下る。

高畑山(695m)には 12:20 に到着。しばらく休んでいると、途中ですれ違ったひとりの女性が戻ってきた。「きついで戻ってきました」とのこと。誰でも古御岳への急登は嫌になると思う。

中ノ沢ノ頭(622m)は巻いて天目指峠を目指す。降り立った天目指峠(490m)は立派な舗装された道が通じていた。

バイクが一台、エンジンの音を響かせ名郷方面から登ってきて通り抜けて行った。やはり峠であることを実感。峠を横切って尾根に取り付き登りだすと、子の権現はもう射程距離内。

快調に歩を進めると間もなく、子の権現付近の見覚えのある広い道にでた。数年前、吾野駅から登ってきたとき、この付近で昼食をとったことを思いだした。

SMさんが陽当たりの良いところに、沢山のフクジュソウを見つけて歓声を上げた。黄色い花は良く目立ち、明るい気分にさせてくれて楽しくなる。子の権現は今回はトイレ休憩のみで通過し、ドンドン下って吾野駅に向かった。かくして 16:15、無事吾野駅に到着した。

距離 14.5km、久しぶりのハイキングなので歩けるか?とも思ったが、マイペースで歩いたこともあり、足に異常を感じることなく歩き通すことができた。このところ諸事情により山に行けなかったが、時間を見つけてウォーキングをしている効果があったのかも知れない。SMさんがコースのほとんどで先頭を歩いてくれたので、楽をさせて貰った。

《コースタイム》

正丸駅発	8:35
登山口	9:00
正丸峠	9:35-50
小高山	10:10-15
五輪山	10:25-40
伊豆ヶ岳	10:55-11:30
古御岳	11:40
高畑山	12:20-45
天目指峠	13:25
子の権現	14:45-15:00
吾野駅着	16:15



古御岳山頂



高畑山山頂



子の権現付近のフクジュソウ